

目 次

まえがき

推薦のことば

第1部 公共測量と作業規程	1
第1章 公共測量	3
1.1 測量と測量法	3
1.2 法における測量の種類	3
1.3 公共測量	7
1.4 公共測量作業規程	7
1.5 公共測量と技術管理	8
1.5.1 測量計画機関が行う技術管理	8
1.5.2 測量作業機関が行う技術管理	8
1.6 測量成果の電子納品	9
1.6.1 フォルダ構成	9
1.6.2 成果品の管理項目とファイル形式	11
1.6.3 ファイルの命名規則	11
1.6.4 検符等及び第三者機関検定	12
1.6.5 電子媒体	12
1.6.6 ウィルス対策	12
1.6.7 使用文字	13
第2章 國土交通省公共測量作業規程	14
2.1 目的と適用範囲	14
2.2 國土交通省（建設省）公共測量作業規程の沿革	14
2.3 國土交通省公共測量作業規程の主な改定点	15
第2部 國土交通省公共測量作業規程の解説	19
第1編 総 則	21
第1章 総 則	23
1.1 総則の概説	23
1.2 世界測地系への移行	23
1.3 総則の逐条解説	24
第2編 基準点測量	35
第1章 概 説	37
1.1 基準点と基準点測量	37
1.2 測量の基準	37
1.2.1 地球の形状と大きさ及び準拠楕円体と世界測地系	38
1.2.2 地理学的経緯度	39
1.2.3 地心直交座標系	39
1.2.4 平面直角座標系	40
1.3 基準点測量の体系	40
1.3.1 狹義の基準点測量の体系	40

1.3.2 水準測量の体系	41
1.4 水平位置の表し方	41
1.4.1 平面座標系（平面直角座標系・極座標系）	41
1.4.2 平面直角座標系（平成14年1月国土交通省告示第9号による）	42
1.5 トータルステーションを用いる測量	44
1.6 GPS 測量	46
第2章 基準点測量	50
2.1 要旨	50
2.2 基準点の区分と既知点の種類等	50
2.2.1 基準点の精度	51
2.3 基準点測量の方式	51
2.3.1 多角測量方式（多角方式）	53
2.3.2 位置の精度	55
2.4 工程別作業区分及び順序	59
2.5 測量実施計画等	59
2.5.1 測量実施計画等	59
2.5.2 測量の計画	59
2.5.3 作業計画	61
2.6 選点	61
2.6.1 要旨	61
2.6.2 既知点の現況調査	62
2.6.3 新点の選定	62
2.6.4 建標承諾書の取得	63
2.6.5 選点図及び平均図の作成	63
2.7 測量標の設置	63
2.7.1 要旨	63
2.7.2 永久標識の設置	64
2.7.3 点の記の作成	65
2.8 観測	65
2.8.1 要旨	65
2.8.2 機器	66
2.8.3 機器の検定等	67
2.8.4 観測の実施	70
2.8.5 観測値の点検及び再測	80
2.8.6 偏心要素の測定	81
2.9 計算	87
2.9.1 要旨	87
2.9.2 計算の方法	88
2.9.3 点検計算及び再測	90
2.9.4 平均計算等	97
2.10 成果等の整理	105
2.11 基準点測量作業における施工管理	109

第3章 水準測量	111
3.1 要旨	111
3.1.1 高さの基準	111
3.1.2 高さを求める方法	111
3.1.3 水準測量の級区分	111
3.1.4 水準測量の級区分と適用範囲の選択	112
3.1.5 既知点と路線長	112
3.1.6 水準路線	113
3.1.7 水準測量の方式	114
3.1.8 工程別作業区分及び順序	115
3.2 作業計画	115
3.2.1 要旨	115
3.3 選点	116
3.3.1 要旨	116
3.3.2 既知点の現況調査	116
3.3.3 新点の選定	116
3.3.4 建標承諾書の取得	117
3.3.5 選点図及び平均図の作成	117
3.4 測量標の設置	118
3.4.1 要旨	118
3.4.2 永久標識の設置	118
3.4.3 点の記の作成	118
3.5 観測	119
3.5.1 機器の性能	119
3.5.2 機器の検定等	122
3.5.3 観測の実施	125
3.5.4 再測	133
3.5.5 検測	134
3.6 計算及び計算の方法	134
3.6.1 計算	134
3.6.2 計算の方法	134
3.6.3 点検計算及び再測	137
3.6.4 平均計算	138
3.7 成果等の整理	140
3.8 水準測量作業における施工管理	141
第3編 地形測量	143
第1章 概説	145
1.1 地形測量	145
1.2 逐条解説	145
第2章 平板測量	148
2.1 平板測量の概説	148
2.1.1 平板測量の特徴	148

2.1.2	平板測量の工程	150
2.1.3	主要機器の構造・性能と種類	152
2.2	逐条解説	154
2.2.1	要 旨	154
2.2.2	作業計画	157
2.2.3	基準点の設置	157
2.2.4	基準点等の展開	158
2.2.5	平板を用いる方法による細部測量	159
2.2.6	TSを用いる方法による細部測量	161
2.2.7	編 集	163
2.2.8	地形図原図作成	163
2.2.9	成果等の整理	165
2.3	工程管理・精度管理等	165
第3章	空中写真測量	166
3.1	空中写真測量の概説	166
3.1.1	空中写真測量の原理	166
3.1.2	空中写真測量の精度と適用範囲	167
3.1.3	空中写真測量に使用される主要機器	169
3.2	逐条解説	174
3.2.1	要 旨	174
3.2.2	標定点の設置	177
3.2.3	対空標識の設置	179
3.2.4	撮 影	187
3.2.5	刺 針	197
3.2.6	現地調査	199
3.2.7	空中三角測量	201
3.2.8	図 化	218
3.2.9	地形補備測量	225
3.2.10	編 集	227
3.2.11	現地補測（現地補備測量）	230
3.2.12	地形図原図作成	231
第4章	修正測量	234
4.1	修正測量の概説	234
4.1.1	要 旨	234
4.1.2	修正測量の作業工程	234
4.1.3	修正測量に使用する機器及び施工管理	237
4.2	逐条解説	237
4.2.1	要 旨	237
4.2.2	修 正	242
4.2.3	現地調査	244
4.2.4	編 集	245
4.2.5	地形図修正原図作成	246

4.2.6 成果等の整理	247
第5章 写真図作成	248
5.1 写真図の概説	248
5.1.1 写真図の原理と作成法	248
5.1.2 正射投影法	250
5.2 逐条解説	253
5.2.1 要旨	253
5.2.2 作業計画	255
5.2.3 正射投影	255
5.2.4 モザイク	258
5.2.5 編集	259
5.2.6 原図作成	259
第6章 地図編集	263
6.1 地図編集の概要	263
6.1.1 地図の縮尺と表現内容	263
6.1.2 地図投影法	263
6.1.3 図式	264
6.1.4 編集作業	264
6.1.5 地図編集の作業工程	265
6.2 逐条解説	266
6.2.1 地図編集	266
6.2.2 作業計画	268
6.2.3 資料収集及び整理	268
6.2.4 図郭等の展開	269
6.2.5 編集原稿図の作成	270
6.2.6 編集	270
6.2.7 成果等の整理	276
6.3 適用例	278
第4編 数値地形測量	281
第1章 概説	283
1.1 数値地形測量	283
1.2 逐条解説	285
第2章 TS地形測量	289
2.1 TS地形測量の概説	289
2.2 逐条解説	289
2.2.1 要旨	289
2.2.2 細部測量	292
2.2.3 数値編集	292
2.2.4 DMデータファイルの作成	293
2.2.5 地形図原図作成	294
2.2.6 成果等の整理	295
2.3 TS地形測量における施工管理	296

2.3.1 作業工程別施工管理項目	296
第3章 ディジタルマッピング	297
3.1 ディジタルマッピングの概説	297
3.2 逐条解説	297
3.2.1 要旨	297
3.2.2 数値図化	305
3.2.3 地形補備測量	311
3.2.4 数値編集	312
3.2.5 現地補測及び補測数値編集	314
3.2.6 DMデータファイルの作成	315
3.2.7 地形図原図作成	315
3.2.8 成果等の整理	316
3.3 ディジタルマッピングにおける施工管理	317
3.3.1 作業工程別施工管理項目	317
3.3.2 工程別点検内容等	318
第4章 既成図数値化	323
4.1 既成図数値化の概要	323
4.1.1 数値化作業の方法	323
4.2 逐条解説	326
4.2.1 要旨	326
4.2.2 作業計画	329
4.2.3 計測用基図作成	329
4.2.4 計測	330
4.2.5 編集	332
4.2.6 DMデータファイルの作成	333
4.2.7 成果等の整理	334
第5章 数値地形図修正	335
5.1 数値地形図修正の概説	335
5.1.1 要旨	335
5.1.2 作業工程	335
5.2 逐条解説	336
5.2.1 要旨	336
5.2.2 作業計画	341
5.2.3 予察	342
5.2.4 修正数値図化	343
5.2.5 現地調査	347
5.2.6 修正数値編集	348
5.2.7 DMデータファイルの更新	349
5.2.8 地形図修正原図作成	349
5.2.9 成果等の整理	350
5.3 数値地形図修正における施工管理	351
第6章 数値地形図用語解説	352

第5編 応用測量	373
第1章 概 説	375
1.1 応用測量の概説	375
1.2 逐条解説	375
1.2.1 要 旨	375
1.2.2 応用測量の区分	375
1.2.3 使用する成果	376
1.2.4 機 器	378
1.2.5 計算結果の表示単位	385
1.2.6 標杭の形状等	385
第2章 路線測量	387
2.1 要 旨	387
2.1.1 要 旨	387
2.1.2 路線測量の細分	387
2.2 逐条解説	390
2.2.1 作業計画	390
2.2.2 線形決定	390
2.2.3 中心線測量	398
2.2.4 仮BM設置測量	402
2.2.5 縦断測量	403
2.2.6 横断測量	405
2.2.7 詳細測量	407
2.2.8 用地幅杭設置測量	408
2.2.9 成果等の整理	409
第3章 河川測量	411
3.1 河川測量作業の概要	411
3.2 逐条解説	411
3.2.1 要 旨	411
3.2.2 作業計画	413
3.2.3 距離標設置測量	413
3.2.4 水準基標測量	414
3.2.5 定期縦断測量	416
3.2.6 定期横断測量	417
3.2.7 深浅測量	419
3.2.8 法線測量	422
3.2.9 海浜測量及び汀線測量	423
3.2.10 成果等の整理	424
第4章 用地測量	426
4.1 要 旨	426
4.1.1 要 旨	426
4.1.2 用地測量の細分	426
4.2 逐条解説	428

4.2.1	作業計画	428
4.2.2	資料調査	428
4.2.3	境界確認	431
4.2.4	境界測量	433
4.2.5	境界点間測量	436
4.2.6	面積計算	437
4.2.7	用地実測図原図等の作成	438
4.2.8	成果等の整理	445
第3部	測量業務の設計と積算	447
第1章	要 旨	449
第2章	設計と仕様書	450
2.1	設計の目的と方法	450
2.1.1	設計の目的	450
2.1.2	設計の方法	450
2.1.3	設計における留意事項	451
2.2	仕様書の書き方	451
2.2.1	共通仕様書	451
2.2.2	特記仕様書	451
2.3	例	452
第3章	積 算	465
3.1	契約と予定価格	465
3.2	測量業務費の構成	466
3.2.1	全体の構成	466
3.2.2	各費目の内容	467
3.3	測量業務価格の積算実例	469
3.3.1	用語の定義	469
3.3.2	積算の実務	473
第4章	公共測量の手続き	475
4.1	公共測量の手続きの意義	475
4.2	手続きの実際	475
4.2.1	測量作業規程の承認申請（法第33条）：様式－1, 2	475
4.2.2	公共測量実施計画書の提出（法第36条）：様式－3	475
4.2.3	測量標・測量成果の使用承認申請書の提出（法第26・30条）：様式－4	476
4.2.4	測量成果等の提出（法第40条）：様式－5	476
4.2.5	公共測量実施・終了の公示（法第14条）：様式－6	476
4.2.6	永久標識設置の通知（法第21条）：様式－7	476
4.2.7	基準点現況調査報告書：様式－8	476